

仕様書10（海外における販路開拓活動）

1 事業名

中国における輸出可能性調査及び食品見本市出展（上海・FHC）

2 事業目的

中国は重要な市場であるが、コロナ禍や処理水問題の影響により、日本からの輸出は停滞している。しかし、状況改善の可能性が見込まれることから、中国市場のマーケット情報を調査し、展示会で現地ニーズに合った商品を提案することにより、輸出拡大の契機とする。

3 前提条件

- (1) 対象国・地域：中国
- (2) 対象品目：コメ、パックご飯、米粉・米粉製品、米菓、日本酒
- (3) 企画提案書の作成に当たっては以下のとおりとする。
 - ・企画提案書はA4縦で4枚以内とする。
 - ・費用概算がわかるよう、別紙にて積算内訳書を作成すること。

4 事業内容

(1) 現地マーケット情報の調査

- ① 調査の目的：日中の関係が薄れたここ数年のうちに、中国人のコメ・コメ関連食品に対する食べ方、意識の変化や、自国産、海外産、日本産の米に対する位置づけ・イメージ等に関して、以前との変化、現状どのようなものであるか等を把握し、改めて、どのようなターゲット層・方向性で輸出を展開していくことが有効かを定量・定性結果から提案すること。

→上記を達成するための、調査方法、サンプル数、対象者条件、対象地域等を提案すること。

- ② 調査結果より、展示会における有望な商品を提案できるよう設計すること。

(2) 食品展示会 FHC 上海グローバルフードトレードショーへの出展及びプロモーションの実施

- ① 実施時期：2025年11月12日～14日
- ② 場所：上海市内
- ③ 日本側参加者：会員5社、4泊程度を想定すること。
- ④ 参加会員の商談会用商品説明シートを作成すること。
- ⑤ 参加会員事前ヒアリング：事業実施にあたって、参加会員の意向を踏まえた事業とすべく、事業に関する意見要望等のヒアリングを行うこと。
- ⑥ 事前セミナー：商談会に先立ち、コメ・コメ関連食品に係る現地情報（商習慣・商流・購買傾向等）を参加会員へ周知する事前セミナーを実施すること。その際、可能な限り実際に現地で日本産コメ・コメ関連食品を扱うバイヤー等についても招へいし、その立場から見たこれら品目への評価等を説明してもらうようにすること。
- ⑦ プロモーション：出展の共通スペースにおいて、日本産コメ・コメ関連食品のPRイベント（例：おにぎり・寿司等の試食等）を実施し、日本産のコメ・コメ関連食品の魅力を発信しつつ、各社のブースへの立ち寄りを促すこと。
- ⑧ 展示会後のフォローアップ：展示会終了後においても、会員とバイヤー間の商談成約に向けたフォローアップを継続して行うこと。

(3) 事業実施後のアンケート実施

- 展示会参加会員及び商談に参加したバイヤー等へ商談結果（成約見込み金額等）、課題、感想等について聞き取りを行うこと。特に、バイヤー等には、商談にあたってネックになった点（価格、商流、品質、新規性など）を聞き取ること。

なお、事業の詳細については、事務局との相談の結果、変更する場合がある。

5 事業報告

(1) 事業報告書の作成・提出

4の(1)～(3)に関する実施報告書を作成すること。

4の(1)の報告書は9月末までに作成すること。

(2) 4の(2)、(3)に関しては、速報版を作成すること。事業終了後1か月以内に、事業概要、参加者、バイヤー等、状況のわかる写真、成約見込み金額等を提出すること。

(3) 最終報告書の作成：報告書には、商談結果（成約見込み金額等）と商談のフォロー内容を取りまとめるとともに、中国向けの今後の輸出拡大に向けた詳細な提言を盛り込むこと。

また、事前セミナー及び商談会当日のプレゼンテーション等についてはその説明内容の概要も作成すること。

6 履行期間

契約締結日から2026年3月31日まで